

# ふくいの土地改良

250



施設見学会の様子(10頁参照)

「ふくいの土地改良」では、土地改良区が行う活動を掲載しています。  
皆さんからの情報を是非お寄せください。

「第39回全国土地改良大会 石川大会」 に参加	.... 1	【インフォメーション】 平成29年度 農村振興局関係予算 概算要求の重点事項	.... 5
「全国農業集落排水事業推進協議会・ 第27回通常総会・提案活動」に出席	.... 3	【インフォメーション】 「新たな土地改良長期計画」 の概要	.... 7
「土地改良施設の整備補修事例検討会」 を開催	.... 3	【連載】 福井県多面的機能発揮推進協議会 通信 6	.... 9
「水土里ウォークin鳴鹿」に行ってきました!	.... 4	【不定期連載】 土地改良区だより 2016年9・10月号	.... 10
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016 結果発表	.... 4	行事予定	.... 11
		農業基盤整備資金利率のお知らせ	.... 11



## 「第39回全国土地改良大会 石川大会」に参加



全国土地改良事業団体連合会 二階会長挨拶

去る10月25日(火)石川県金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ」を会場に、全国土地改良事業団体連合会(以下全土連)・石川県土地改良事業団体連合会(以下石川県土連)の主催並びに農林水産省・石川県等の後援により「第39回全国土地改良大会 石川大会」が開催されました。大会テーマ「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ ～伝えよう水土里の歴史を あえの風にのせて～」のもと、全国から土地改良関係者約4,300人が参集しました。隣県

での開催でもあり、福井県内からは241人もの方がご出席くださいました。

式典では、まず石川県土連の西村徹会長が開催地として歓迎の挨拶を述べられ、続く主催者挨拶では全土連の二階俊博会長が、頻発する災害により被災された方々へのお見舞いの言葉に続いて「今年度は、補正予算を含め、1,222億円の増額予算を確保することが出来ました。また、この臨時国会において、1,752億円の補正予算も確保することが出来ました。来年度の予算編成作業が進められておりますが、さらなる攻めの農業の実現に向け、当初予算におきましても、安定的、計画的な事業執行に不可欠となる十分な土地改良事業予算の確保が出来ますよう、引き続き、関係方面へ要請して参りたいと思います。8月に策定された土地改良長期計画の中で、産業政策として「豊かで競争力ある農業」、地域政策として「美しく活力ある農村」、さらにこれらを支える土台として「強くてしなやかな農業農村」の3つの政策課題を掲げられております。私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えています。」と来場者へ一致団結を呼びかけられました。その後、谷本正憲石川県知事と山野之義金沢市長による歓迎のこと

ばと、磯崎陽輔農林水産副大臣による祝辞がありました。(二階会長の挨拶は一部を抜粋しています。)



(農村振興局長表彰)会場での 西端理事長

次いで行われた土地改良事業功労者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全土連会長表彰46名に表彰状と記念品が贈与されました。本県からは長きに亘って土地改良事業の推進に尽力されてきた功績が称えられ、春江町土地改良区の西端勲理事長が農村振興局長表彰、前 江上三ヶ土地改良区理事長である中垣内一夫氏が全土連会長表彰の荣誉に輝いています。



(全土連会長表彰)会場での 中垣内 前理事長

続いて基調講演として、農林水産省農村振興局室本隆司次長からは、石川県の土地改良の歴史と未来に向けた土地改良の発展に向けた変革について、石川県立大学の丸山利輔参与からは、農業農村を支えた石川県ゆかりの先達についてのお話がありました。



その後、北陸の優良地区事例ということで、新潟県の柏崎土地改良区から基盤整備を契機とした農業経営の多角化について、富山県の黒部川左岸土地改良区から改良区だから出来る水力発電施設の特色についてご紹介いただきました。更に福井県の事例は、九頭竜川鳴鹿堰堤土地改良区連合の高嶋隆一事務局長が壇上に上がり、国営九頭竜川下流農業水利事業によるパイプラインから安定的に供給される、良質な農業用水を活かした米の品質向上や大規模経営体の育成、営農に与える影響の他、水田汎用化や次



壇上の高嶋隆一事務局長

世代型水利システム等の新たな取組についてお話しいただきました。

今回の大会宣言は、石川県立大学生物資源環境学部環境科学科の金平健世さんと川向七海さんが力強く朗読し、拍手で採択されました。

その後、大会旗が次期開催地である静岡県土地改良事業団体連合会へ引き継がれ、伊東真英会長が開催への意気込みを述べられました。

最後に閉会挨拶があり、第39回土地改良大会 石川大会が幕を閉じました。

## 【大会宣言】

我が国は、美しい四季を持ち豊かな食文化を有する恵みの国であります。

古より葦が生い茂り稲穂が豊かに実り栄えるそのさまは「豊葦原の瑞穂の国」と美称されてきました。

縄文時代の後期に大陸から水田稲作技術が伝来し、先人達は農地を耕し、かんがい用水を導き、度重なる自然災害を幾度となく克服し、今日の水田農業が確立されました。

また、水田農業に欠かすことのできない疎水は、藩政時代の新田開発のために先達によって築造され、今も全国に数多く現存しています。今日まで適切な保全管理がなされてきたことにより、これらの施設の内、歴史的、技術的、社会的価値のある国内施設は世界かんがい遺産として認定されています。

農は国の大本であります。私達は先人に学び、活力ある農村と持続可能な循環型社会を構築するため、農業技術の研究開発と共に、ほ場整備やかんがい排水施設等を整備する上で大きな役割を担う、農業土木技術の研鑽と技術者の育成に努めてきました。

一方、日本の食料自給率は39%の現状にあり、先進諸国の中でも最も自給率の低い状況にあります。21世紀中には、発展途上国の人口が大きく増加して世界人口が急増するとともに、地球温暖化による異常気象が頻発し、砂漠化の拡大、ゲリラ豪雨の多発による洪水災害などにより、世界の食料の生産力の低下が懸念されることから、食料確保が喫緊の課題です。

しかし、日本の農村社会は過疎化、高齢化が進展し、農業者の離農により非農家が増え続け、耕作放棄地の増大にも歯止めがかかりません。

私達、水土里ネットは、国民に農業農村の大切さについて理解を深める啓発活動を継続し、農村地域の豊富な資源である水、太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギーの積極的な利活用等により自らが組織強化を図るとともに、引き続き地域と資源を守り安全安心な農村社会を創ることが使命です。

更に、農業農村の持続的な発展により、国土の保全、水源涵養などの多面的機能の発揮を促し、農村地域の活性化を図らなければなりません。

本日、ここに集う私達は、活力ある豊かな農業・農村を目指し、「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ」を、ここ石川の地において高らかに宣言します。

## 「全国農業集落排水事業推進協議会 役員会・第27回通常総会」に出席



役員会風景



総会風景

去る7月28日(木)、TKPガーデンシティ(東京都)を会場に、全国農業集落排水事業推進協議会役員会並びに第27回通常総会が開催されました。

11時半からの役員会では、役員交代に当たり今期の役員から次期役員への引継が行われました。北陸ブロックからは、平成26、27年度の2カ年副会長を務めた、福井県農村整備事業推進協議会の山崎正昭会長の代理として福井県土地改良事業団体連合会の坪田洋次専務理事が、また次期(28、29年度)副会長として、新潟県土地改良事業団体連合会の三富佳一会長がそれぞれ出席しました。

総会では、各県から50名の関係者の出席のもと、下記の議案について審議され全議案承認されました。

その後、新役員と事務局が農林水産省と国会議員に対し、農業集落排水施設整備の推進や機能維持への支援、予算の確保について提案活動を行っています。

【議案】	第1号議案	平成27年度事業報告並びに同収支予算の承認について
	第2号議案	平成28年度事業計画、同会費の賦課及び徴収方法並びに同収支予算の議決について
	第3号議案	平成28年度農業集落排水事業推進の施策に関する提案について
	第4号議案	役員の選任について

## 「土地改良施設の整備補修事例検討会」を開催



会場風景

去る10月14日(金)午後1時半から、福井市地域交流プラザ602会議室において、農村振興局、北陸農政局、全国土地改良事業団体連合会(以下、全土連)、北陸四県の県・土地改良事業団体連合会から関係職員19名の出席のもと、平成28年度土地改良施設の整備補修事例検討会を開催しました。

本検討会は、土地改良施設の診断・管理指導等に基づき実施される整備補修について、北陸ブロックの優秀な事例を選出することを目的としています。各ブロックで選出された事例は、全土連が取りまとめ、さらに審査を行い、他地区においても参考となる事例についてデータの共有が図られこととなっています。

北陸ブロックにおいては審議の結果、新潟県 三島郡北部土地改良区の吉揚水機場における、「パッキンスリーブの新たな補修工法について」の事例を紹介することといたしました。

## 「水土里ウォークin鳴鹿」に行ってきました！



参加者の長～い列



パイプライン事業のモニュメントに見入る参加者の方々

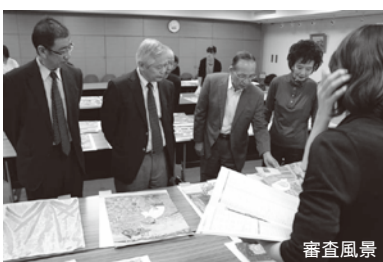
去る10月15日(土)「水土里ウォークin鳴鹿」が開催されました。このイベントは、ウォーキングを通じて農業用水の役割や大切さについて認識を深めてもらうため、ふくい水土里の路ウォーキング実行委員会と福井県の主催で開催されています。当会も協賛するとともにスタッフとして協力しています。今回で13回を迎えるこのイベントには、県内各地から331人もの方が参加されました。

当日は、まさに秋の行楽日和。開会式会場である福井県総合グリーンセンターには、福井しあわせ元気国体のキャラクター「すぼりゅう」と福井県公式恐竜ブランドのキャラクター「ラプト」、よしもと福井住みます芸人の「飯めしあがれこにお」さんが現れ、会場を盛り上げていました。開会挨拶や参加者による完歩宣言等の後、参加者の皆さんは3班に分かれてスタートしていきました。

今回は、国営九頭竜川下流地区のパイプラインが4月に全面通水したことを記念して関連施設を巡りました。参加者には、四ヶ分水跡地や鳴鹿大堰、パイプライン事業の全容を表すモニュメントや巨大な除塵機と併せて、田園風景を眺めることで、これらの施設が身近な食と繋がっていることを感じてもらえたのではないかと思います。ゴール後には、完歩賞とは別にお楽しみくじもあり、パイプラインから供給される冷たい用水で育てられた「夜間かんがい米」のおにぎりも賞品として配られました。

来年は丹南地域で開催予定との事です。皆様のご参加をお待ちしています。

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016 結果報告



審査風景

9月12日(月)を締切に作品をご応募いただきました「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016の審査結果について全国土地改良事業団体連合会より報告がありました。今回は、全国から昨年より700点多い7,879点、内福井県からは212点の応募がありました。今年の作品は、全体的におとなしい印象の絵が多かったようですが、年々良い作品が増えているそうです。

10月11・12日の審査で各受賞作品が選出されました。昨年に続いて今年も県内より入賞作品が選出されています。作品は次号より表紙を飾る予定ですので、お楽しみに。

賞		学校名・学年・氏名		作品名	応募団体
入賞(明治賞)		福井市酒生小学校	3年 杉本元志	ぼくの大好きなおばあちゃんのトマト	足羽川堰堤連合
入選		福井市六条小学校	1年 寺井明希	ぶどうの木	足羽川堰堤連合
		福井市文殊小学校	5年 藤永剛史	パイプラインで田んぼに水を入れる人	足羽文殊改良区
団体賞	水土里ネットふくい会長賞	小浜市立宮川小学校	5年 前野萌衣	たいこ	福井県土連
	足羽川堰堤土地改良区連合理事長賞	福井市酒生小学校	6年 古市啓修	ザリガニ、ヌマエビ、ギンブナ、クロメダカ いろいろつかまえられる用水路	足羽川堰堤連合
	足羽文殊土地改良区理事長賞	福井市文殊小学校	5年 達川力輝	初夏の夜	足羽文殊改良区



インフォメーション

平成29年度 農村振興局関係予算概算要求の重点事項

去る8月31日(水)、農林水産省は平成29年度予算の概算要求を財務省に提出しました。  
総額で対前年度当初予算比14.1%増の2兆6,350億円を計上。内、農業農村整備事業関係予算の要望額は4,584億円で、平成28年度当初予算額の20%増となっています。

事 項	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求・要望額	対前年度比	主要予算総括表(単位:億円)			
				H29年度 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要 (単位:億円)			
					平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求・要望額	対前年度比
一般会計				農業農村整備事業(A)	2,962	3,555	120.0%
非公共事業(C)	1,215	1,358	111.8%	農山漁村地域整備交付金 (農業農村整備分)(B)	735	882	120.0%
公共事業	4,143	4,956	119.6%	農地耕作条件改善事業 (非公共)(C)	123	147	120.0%
農業農村整備事業(A)	2,962	3,555	120.0%	計	3,820	4,584	120.0%
農山漁村地域整備交付金(B)	1,067	1,280	120.0%				
海岸事業	33	39	120.0%				
災害復旧事業等	82	82	100.0%				
農村振興局予算総額	5,358	6,313	117.8%				

各事項の下段( )内は、平成28年度当初予算額

1 担い手への農地集積・集約化による構造改革の推進

(1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化

農地の大区画化等の推進 < 公共 > (農業農村整備事業で実施)  
農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、  
地域の特性に応じた農地の大区画化・汎用化等を促進 1,210億円の内数  
(913億円の内数)

農地耕作条件改善事業

農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化を推進するため、担い手への農地の集積・集約化が行われ、又は基盤整備の実施により今後行われると見込まれる地域において、  
大、暗渠排水等に加え、土壌改良をはじめとする借り手のニーズに対応した基盤整備を支援。 147億円  
(123億円)

2 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

水田の畑地化・汎用化の推進 < 公共 > (農業農村整備事業で実施)  
高収益作物への転換を促すため、平場・中山間地域などにおける水田の畑地化・汎用化を  
支援 1,210億円の内数  
( - )

3 強い農林水産業のための基盤づくり

(1) 農林水産基盤整備(競争力強化・国土強靱化)

農業農村整備事業 < 公共 >  
農地の大区画化、老朽化した施設の改修等の遅れがみられる中、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を推進 3,555億円  
(2,962億円)

農地耕作条件改善事業(再掲)

(既述につき省略) 147億円  
(123億円)

農山漁村地域整備交付金 < 公共 >

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援 1,280億円  
(1,067億円)

(2) 農林水産関係施設整備

特殊自然災害対策施設緊急整備事業

火山の降灰被害に対応するための洗浄用機械施設等の整備やこれと一体的に行う用水確保対策等を支援

2億円  
(2億円)

(3) 畜産・酪農の競争力強化

草地関連基盤整備<公共>

(農業農村整備事業で実施)

離農農家の草地の円滑な継承を図るため、草地改良と併せて行う施設用地確保のための離農施設の撤去を支援するとともに、牧柵の除去等の簡易な基盤整備等を推進

70億円  
(48億円)

## 4 人口減少社会における農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

多面的機能支払交付金

農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付

503億円  
(483億円)

中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、条件不利地域での農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付

270億円  
(263億円)

(2) インバウンドの推進と農山漁村の振興

農山漁村資源を活用した地域活性化(「農泊」の推進)

(農山漁村振興交付金で実施)

滞在を伴うインバウンド需要を農山漁村に呼び込む農泊を推進するため、受入体制の整備、ホームページ等の多言語化、農林漁業体験の企画・実施、古民家等における小規模な施設改修等を支援(このほか、国有林において、修景伐採、木道整備等を実施)

150億円の内数  
(80億円の内数)

農山漁村振興交付金

150億円  
(80億円)

都市と農山漁村の共生・対流の促進や地域の活性化、薪炭・山菜など地域資源の活用等による山村の活性化、福祉農園の開設等による農福連携の推進、定住・地域間交流を促進するための施設等の整備を支援

うち山村活性化支援交付金  
10億円  
(8億円)

荒廃農地等利活用促進交付金

荒廃農地等を再生利用するための雑草・雑木除去や土作り等の取組を支援

4億円  
(2億円)

(3) 都市農業の機能発揮

都市農業機能発揮対策事業

都市農業の多様な機能の発揮を促進するため、国土交通省と連携し、都市農業に関する課題の調査を実施するほか、都市農地の周辺環境対策、都市農業の意義の周知、災害時の避難地としての農地の活用を支援

3億円  
(2億円)

(4) 再生可能エネルギーの導入促進

農山漁村活性化再生可能エネルギー導入等促進対策

再生可能エネルギー事業によるメリットを地域の農林漁業の発展に活用する取組や農業水利施設を活用した小水力発電等に係る調査設計等を支援

7億円  
(6億円)  
うち農村振興局分  
5億円  
(5億円)

(5) 鳥獣被害防止対策の推進

鳥獣被害防止総合対策交付金

鳥獣被害対策実施隊の増設・捕獲活動の実施、侵入防止柵の設置、捕獲技術高度化施設や処理加工施設の整備、ジビエ活用の推進等を支援

110億円  
(95億円)

お問い合わせ先

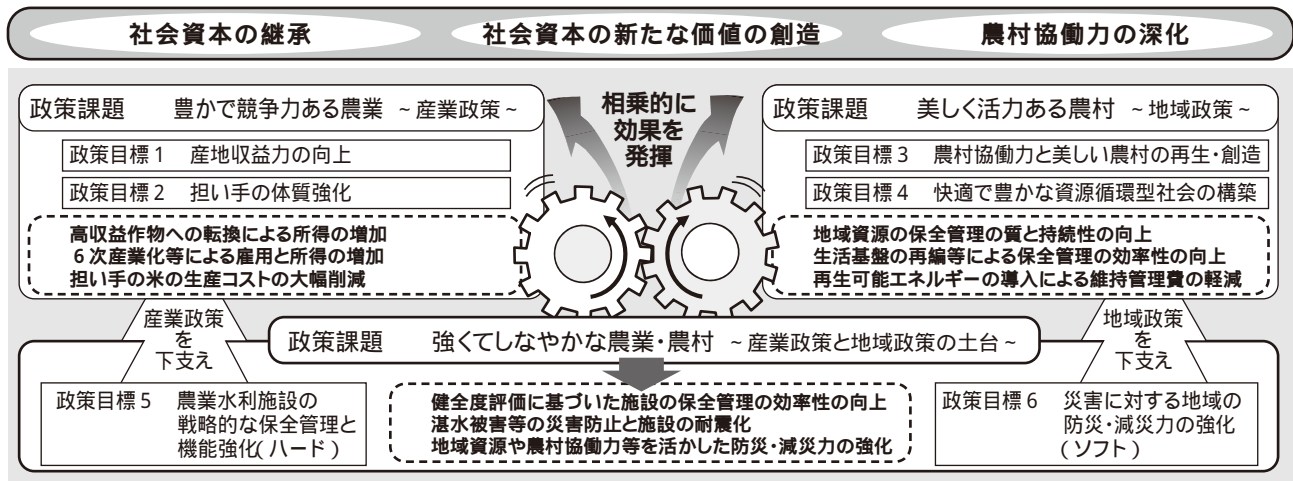
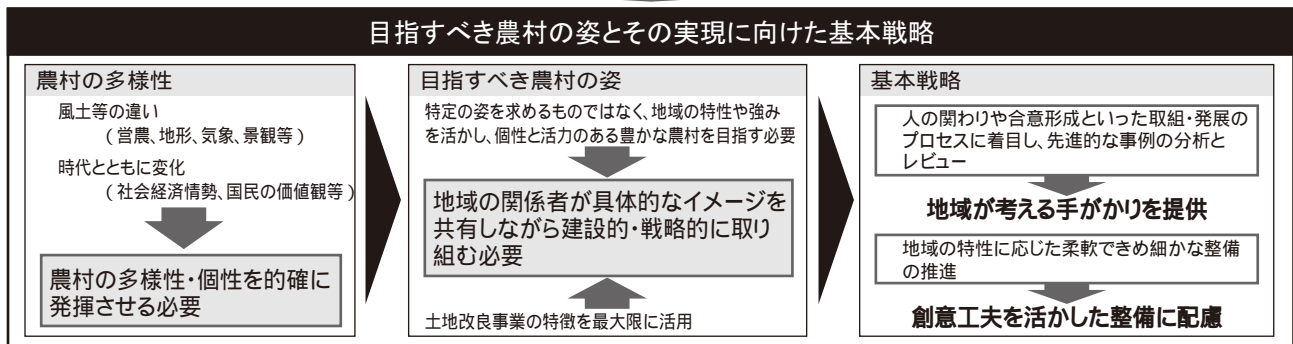
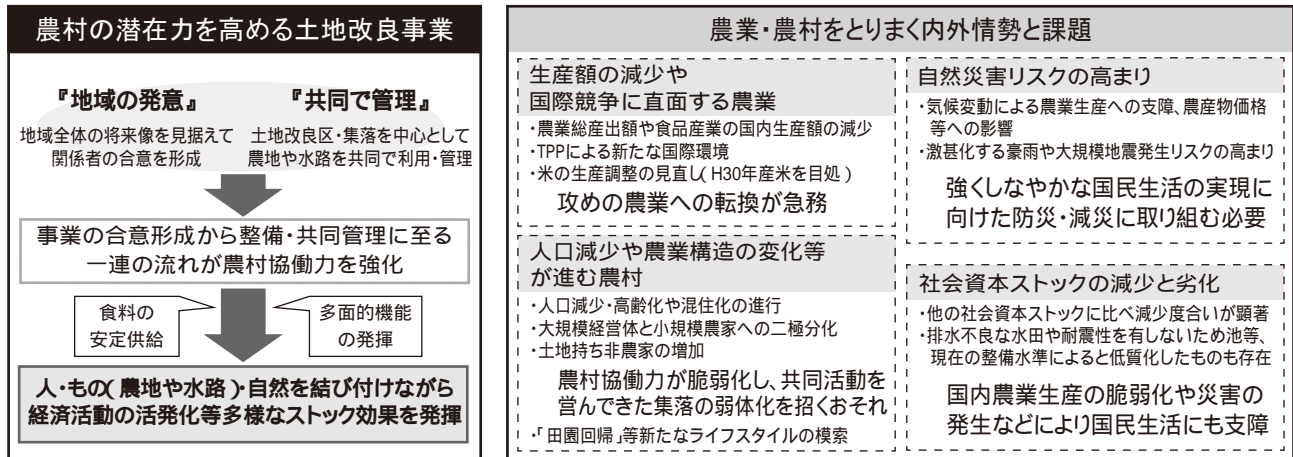
福井県土地改良事業団体連合会 事業部 総務課 (電話:0776-23-7777)

## インフォメーション

### 「新たな土地改良長期計画」の概要

去る8月24日(水)、新たな「土地改良長期計画」が閣議決定されました。

「土地改良長期計画」は、土地改良法第4条の2の規定に基づき、5年を一期として策定するものです。新たな計画は、平成28年度から32年度までの5年間を計画期間としています。



### 成果の着実な達成に向けた土地改進黨業の重点的・効果的な実施

東日本大震災からの復旧と復興	計画の円滑かつ効果的な実施に当たって必要な事項
被災した農地・農業用施設について平成30年度までに復旧完了 福島避難指示区域内の復旧対策	1. 土地改進黨業の検証・検討 2. 関連施策や関連団体との連携強化 3. 技術開発の促進と普及 4. 人材の育成 5. 入札契約の透明性・公平性・競争性の向上と品質確保の促進 6. 国民の理解の促進



今回は、新たな「土地改良長期計画」を踏まえた「農村振興プロセス事例集」が取りまとめられました。この事例集は、我が国の農村の多様性を考慮し、「個性と活力のある豊かな農村」の実現に向けた地域の主体的な取組を後押しするため、土地改良事業の実施を契機として特色ある発展を実現した先進的な事例を取り上げ、人の関わりや合意形成といった取組、発展のプロセス等を整理したものです。

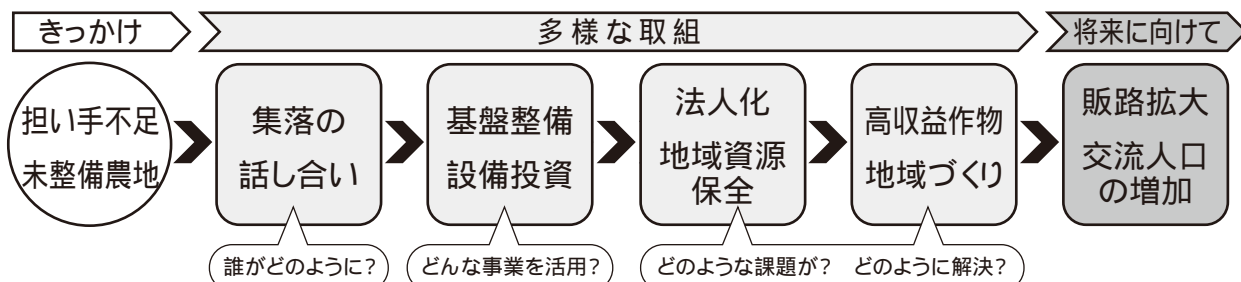
## 農村振興プロセス事例集とは・・・

土地改良事業の実施に際し、関係者が具体的なイメージを共有しながらスピード感を持って取り組むことができるよう、先進的な地域の「発展プロセス」を分析・レビューし、活性化する農村協働力にも着目しつつ、地域自らが考える手がかりを提供しています。

## 発展プロセスとは・・・

本事例集では、地域の特性を活かした特色ある発展を実現した地域を取り上げ、どのような取組を行ってきたのかを経時的な一連のプロセスとして整理しました。

皆さんの地域と条件が似ている地域や、同じような悩みを抱えている地域の事例が、これからの取組みの参考となるかもしれません。



## 福井県からの事例

福井県からは国営・県営かんがい排水事業によるパイプライン整備によって実現した、多様な営農の推進について掲載されています。事例集は以下のURLにて公表されています。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/totikai/process.html>

[illegible]

## 福井県多面的機能発揮推進協議会通信 【多面的機能支払交付金の取組事例のご紹介！】

6

### 担い手の負担軽減による構造改革の後押しを推進！

当組織は、小浜市の東端に位置し、旧宮川村としてまとまりがある、6集落から構成される活動組織である。

平成9年から大区画圃場整備を実施し、農地利用集積を進め、4つの生産組織を中心に営農を展開。平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取組み、地域共同による水路等の維持管理や農村環境保全活動を行う体制を整備し、生産組織の維持管理作業の負担軽減や地域ブランド化に取組んでいる。

### 宮川グリーンネットワーク（小浜市）

#### 【地区概要】

地目	農用地面積	対象施設	延長等
田	19,440 a	開水路	35.6 km
畑	0 a	パイプライン	25.9 km
計	19,440 a	農道	38.1 km
		ため池	7 箇所

### 地域の営農状況

地域内の農地は、大区画圃場整備の実施により、汎用化、担い手への農地利用集積が図られ、4つの生産組織を中心に、直播栽培や大型機械での低コスト農業を進めてきた。

しかし、農業者の高齢化等による水路・農道等の維持管理・獣害対策等の労力確保が課題となったことから、今後の地域農業の在り方を検討し、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策（現在の多面的機能支払交付金）への取組みを開始。

### 取組内容

水路・農道等の維持管理を多面的機能支払交付金の共同活動で取組んだことにより、地域の担い手である生産組織は、これらの作業時間が年間27時間/ha軽減。

また、共同活動により獣害対策も強化され、生産組織は経営規模拡大が可能となり、中間管理機構を活用して農地利用集積を進め、平成27年7月に4つの生産組織を合併し「株式会社 若狭の恵」を設立。地域農業の安定化を図っている。

【農地集積率】平成18年 89ha(46%) 平成27年度 133ha(69%)  
平成28年度 150ha(77%) 予定

活動組織では、景観形成活動として「ひまわりの栽培」を開始。

生産組織は、水路・農道等の維持管理に係る作業負担が軽減されたことから、景観作物のひまわりを緑肥として活用した、特別栽培米「ひまわり米」の生産にも取組んでいる。

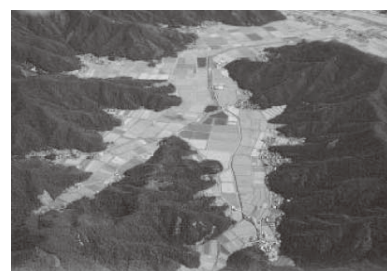
### 取組の効果

水路の泥上げ・草刈り等の地域ぐるみの活動により、担い手である「株式会社 若狭の恵」は年間27時間/haの作業時間が軽減された。

【取組の効果（試算）】維持管理（草刈・泥上げ等）の軽減  
27時間/ha × 150ha = 4,050時間/年 2万円/ha × 150ha = 300万円/年

営農の効率化が図られたことからはじめた特別栽培米「ひまわり米」の生産は、普通米より3,000円/60kgの付加価値が得られたことから、ひまわり関係のイベント来場者（2万人程度）やインターネット・道の駅での直売等、販路を拡大。

さらに、小学校・農家レストランとの契約販売、ふるさと納税の商品化等、トマト等の多角的経営を展開している。



福井県多面的機能発揮推進協議会では、福井県の素晴らしい農村景観や多面的機能支払による活動事例を収集しています。皆さんからの情報提供をお願いします。

収集した事例等は、ホームページ等を活用し情報発信を予定しています。

活動組織事務支援システム “活動記録・確認システム”の申込みは随時受付中です！

お問い合わせ先

福井県土地改良事業団体連合会 事業部 土地改良課（電話：0776-23-7775）



## 土地改良区だより 2016年9・10月号

土地改良区の活動等についてお知らせします。土地改良区の情報を募集中です。

### 【坂井北部土地改良区】

#### 施設見学会を開催！

9月20日(火)あわら市の芦原小学校4年生44名が、坂井北部丘陵揚水機場の見学に訪れました。この施設見学会は、あわら市と坂井市内の小学生を対象に、社会学習の一環として実施されています。

児童たちは、土地改良区職員から説明を受けながら、ポンプ場、電気室、操作室、送水管を回りました。あいにくの雨模様で外の施設を間近で見ることが出来ませんでしたが、ポンプを作動させて音の大きさを体感したり、77000ボルトを受電している特別高圧の電気室をのぞいたり、充実した内容でした。

質疑応答では、揚水機場周辺の地盤の強さや高圧の電気による感電等についての鋭い内容の質問がありました。改良区職員からの丁寧な回答に、児童らもよく理解できた様子でした。



#### 子どもたちと農業体験！ ～イモ掘り編～

10月17日(月)春にサツマイモの苗を植え付けた、あわら市の芦原こども園の園児34名がイモ掘りにやってきました。当日の朝は激しい雨降りでしたが、開催時間が近づくにつれ天気は回復。汗ばみながらのイモ掘りとなりました。

目印として自分の名札を立てておいたサツマイモを引き抜くと、その大きさにあちこちから歓声が上がっていました。今回は、2畝分の収穫を体験してもらいました。収穫の後には、土地改良区の皆さんが準備した焼き芋を頂きました。ほとんどの子どもがおかわりをする盛況ぶり。昼ごはんは食べられるのか?と大人が心配するほどでした。

今回も、NPO法人「美しい田園21」や福井県立大学里山応援サークル、北陸農政局、坂井農林総合事務所の方々が集まり、子どもたちの指導等に協力されていました。耕作放棄地解消への取組として、継続されているのも多くの関係者が賛同してこそだと感じました。

どの子の顔もととても楽しそうで、子どもたちにとって土や命、実りについて体感する貴重な時間となったようです。





## 行 事 予 定

11月 25日(金)	北陸農政局 要請活動 (主催:北陸四県土地改良事業団体連合会協議会)	総務課
28日(月)	農業農村整備の集い (会場:シェンパッハ・サポー)	総務課
29日(火)	中央要請活動 (主催:北陸四県土地改良事業団体連合会協議会)	総務課
12月 8日(木)	平成28年度 換地計画実務研修会 (会場:福井県国際交流会館)	土地改良課
1月 23日(月)	平成28年度 災害復旧技術向上のための講習 (会場:福井県庁 正庁)	企画開発課

本誌の発行日によって記載している行事が終了している場合や、記載がない行事が実施される場合、また詳細が未定のものは変更のある場合がありますがご了承下さい。

## 農業基盤整備資金利率のお知らせ

平成28年10月20日付けの日本政策金融公庫 農林水産事業の農業基盤整備資金貸付利率についてお知らせします。  
問い合わせ先:(株)日本政策金融公庫福井支店 TEL:0776-33-2385 HP: <http://www.jfc.go.jp/a/>

(単位: %)

区 分		融資期間に かわらず	融資期間別 (一例) (%)			
			5年	10年	15年	20年
補助事業	県 営	0.25	—	—	—	—
	団体営	0.10	—	—	—	—
非 補 助		0.10	—	—	—	—
災 害 復 旧		—	0.10	0.10	0.10	0.10

## 水土里ネットふくい(福井県土地改良事業団体連合会)の連絡先

〒910-0014 福井県福井市幾久町 8 番17号 (FAX) 0776-24-1400 <http://www.midorinet-fukui.jp>

総務課、企画開発課	(TEL) 0776-23-7777	<a href="mailto:soumu@midorinet-fukui.jp">soumu@midorinet-fukui.jp</a>
土地改良課	(TEL) 0776-23-7775	<a href="mailto:jigyo4f@midorinet-fukui.jp">jigyo4f@midorinet-fukui.jp</a>
(管理・情報担当、水土保全・基幹水利・多面的機能支払交付金担当、地籍・換地担当、水土総合強化センター)		
計画設計課	(TEL) 0776-23-7776	<a href="mailto:jigyo3f@midorinet-fukui.jp">jigyo3f@midorinet-fukui.jp</a>
環境計画課	(TEL) 0776-23-8560	
(農村環境分析センター)		

嶺南事務所 〒919-1556 福井県三方上中郡若狭町玉置11-58 (TEL/FAX) 0770-57-2727

